

令和4年度 第4回川崎市社会教育委員会議 教育文化会館専門部会摘録

開催日時：令和5年2月19日(日)

13時～16時

開催場所：教育文化会館 第4・5会議室

出席者：〈委員〉山澤委員（部会長）、村社委員（副部会長）、権守委員、石井委員、野口委員、杉山委員、箕輪委員

出席者：〈事務局〉宮館館長、北村分館長、小島分館長、石田課長補佐、関口課長補佐、小宮担当係長 高橋主任（記録）

欠席者：〈委員〉永野委員

傍聴者：0名

1 開会

2 事務連絡

傍聴0名。欠席の委員1名。8名中7名の出席で過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第6条第6項による。配布資料の確認

3 館長あいさつ

4 部会長あいさつ

5 議事

(1) 令和5年度教育文化会館・大師分館・田島分館 市民自主学級・市民自主企画事業選考会（非公開）

(2) 選考審査結果について（非公開）

(3) 教育文化会館・大師分館・田島分館の社会教育振興事業について
関口課長補佐、北村分館長、小島分館長より説明

村社委員)「スマホでボランティア」には年齢制限はあるのか、また講師についても伺いたい。

小島分館長) 年齢制限はなく、講師は実績のある方で、今回助手の方のサポートもあり分かりやすかったようである。

村社委員) シニア世代同士が落ち着いて学習できるように、シニア向けのスマートフォンの企画もあれば魅力的なエンパワーメント研修になると思う。

野口委員) モルックはどのようなゲームか。

小島分館長) フィンランド発祥のボーリングのようなゲームである。ピンに数字が書いてあり、棒状のものを投げて、倒したピンの数字で最初に 50 点取った方が勝つゲームである。暗算の勉強にもなる。

(4) 研究テーマについての意見交換

宮館館長より 12 月に試行で実施した「カフェ」の感想等の説明。

併せて小宮担当係長から 4・5 月実施予定の「キョウブン傾聴カフェ」の説明。

村社委員) 「傾聴ボランティア」には資格が必要か。

小宮担当係長) 話を聞き受け止めるもので資格は必要ない。このグループは 15 年の経験があり講師として呼ばれることもある。

箕輪委員) チラシで「満員の場合」と書かれているが、1 階エントランスで座席があり、人数制限があるということか。

小宮担当係長) 置いてある椅子の数だけ受け入れる。

箕輪委員) それでは「満員」ではなく「満席」ということで良いか。

小宮担当係長) そのようになる。文言を「満席」に修正したい。

6 その他

(1) 令和 5 年度第 1 回の日程について

第 1 回・・・ 6 月の中旬で日程を調整する。

7 閉会